

# 港区基本計画・高輪地区版計画書 見直しに向けた提言書



令和5（2023）年3月

タウンミーティングTAKANAWA2022  
「地区版計画改定支援グループ」



## はじめに

私たち地区版計画改定支援グループは、港区高輪地区の住民、学生、ワーカーなど、性別や年代は違いますが、何かしら高輪地区に関わりがあり、このまちをもっと知りたい、役に立ちたい、魅力を伝えたいという思いを持ったメンバーで1年間活動を続けて参りました。

暮らしの中で課題に感じることや改善の方向性について、会合の時間が足りなくなることも多々あるほど、議論が白熱しました。それほど、このまちに愛着があり、まちをより良くしたい、という前向きな強い思いがあったためだと存じます。

限られた予算をどのように使うのが効果的なのか、また事業者や大学なども巻き込みながら財源の確保や地域課題の解決などを進めていく具体的な改善策を挙げるなど、前向きで建設的な議論ができたことはとても良かったです。

高輪のまちは、緑も豊かで神社仏閣をはじめとした歴史的建造物や史跡が多く残る一方で、高輪ゲートウェイ駅前をはじめとした大規模な開発が予定されているなど、歴史的佇まいを大事にしつつも大きく変わろうとしていることから「変化するまちへの対応」が重要なテーマとなっております。

今回の活動において、意見交換された内容の中には、提言にまとめきれなかったテーマも多くあります。高輪地区だけで実現できる事業だけではなく、港区や東京都も巻き込みながら推進すべき事業もあるため、今までのやり方にとらわれずに、「変化するまちへの対応」として我々も一丸となって推進していきたいと考えます。

最後に、1年間活動してきたメンバーの思いが集まった提言書の内容が、高輪地区の地域の実情に沿った形で事業に活かされることを心より願っております。

令和5年3月

タウンミーティングTAKANAWA2022  
「地区版計画改定支援グループ」  
リーダー 依田 和也



# 港区基本計画・高輪地区版計画書見直しに向けた提言書

## 目 次

### I 高輪地区からの提言

- 1. 提言書のとりまとめにあたって…………… 1
- 2. 提言の体系別整理…………… 2
- 3. 提言へ向けた会議における意見のまとめ…………… 3

#### かがやくまち

- (1) 災害に強く安全・安心なまちをつくる…………… 3
- (2) 緑あふれるまちをつくる…………… 6
- (3) マナーを守り、きれいなまちをつくる…………… 8

#### にぎわうまち

- (4) コミュニティの輪を広げて生かせるまちをつくる…………… 9
- (5) 文化・芸術・歴史を楽しめるまちをつくる…………… 12

#### はぐくむまち

- (6) 子育てしやすいまちをつくる…………… 14
- (7) 高齢者（誰も）が過ごしやすいまちをつくる…………… 17

- その他のご意見…………… 19

### II 委員の感想

- 委員の感想…………… 21

### III 会議の開催経過等

- 1. 会議の開催経過…………… 27
- 2. 委員名簿一覧…………… 28
- 3. まち歩きの詳細…………… 29



# I 高輪地区からの提言



# I 高輪地区からの提言

## 1. 提言書のとりまとめにあたって

港区は、区政のあらゆる分野での計画的な行政運営を推進する際の指針となる最上位の計画として、「港区基本計画」を位置づけています。「港区基本計画」は、全区的な計画「分野別計画」と、総合支所ごとに策定した「地区版計画書」で構成されています。

「港区基本計画・高輪地区版計画書」（以下、「高輪地区版計画書」という。）は、令和3年度から令和8年度までの6年間の計画年度としています。地域の課題を地域で解決し、地域の魅力と特性を生かし、高めることなどを目指し、令和2年度に区民参画組織から提出された「提言書」（令和2年3月）など地域住民の声を反映し策定しました。

高輪地区総合支所では令和5年度に、計画期間の後期3年間（令和6年度～令和8年度）の実施計画を策定することになっています。

### ① 「提言書」と「地区版計画改定支援グループ」について

「提言書」は、公募及び無作為抽出により申し込まれた、高輪地区総合支所管内に在住・在勤・在学または高輪地区のために活動を希望する区民によって構成される「地区版計画改定支援グループ」のメンバーが、会議やまち歩き等における意見交換などを通じて行った活動の結果報告です。

### ② 「提言書」の目的

「地区版計画改定支援グループ」は、令和5年度に策定される高輪地区版計画書の後期3年間（令和6年度～令和8年度）の見直しに向けた提言を行うことを目的として会議などを開催し、現行の地域事業が後期3年間において、より効果的、効率的に実施され、地域の魅力などを向上させるように、その課題や解決方法などについて検討を行ってきました。

ここに、その活動の成果を「提言書」として報告します。

## 2. 提言の体系別整理

### ○かがやくまち

テーマ	課題解決の方向性	提言
(1) 災害に強く安全・安心なまちをつくる	もっと分かりやすい防災情報発信を	1.既存の防災情報・システムの周知・活用 2.情報配信方法の改善
	マンション防災支援の強化を	3.防災に関わるマンション住民の不安解消 4.マンションと町会や地域団体との連携
(2) 緑あふれるまちをつくる	緑で地域コミュニティをもっと広げたい	5.緑を育てる活動を通じて地域の町会等との連携を深める 6.緑のアドバイザー派遣 7.みどりの散策マップの活用
(3) マナーを守り、きれいなまちをつくる	住民・来街者ともにマナーの向上を	8.自転車マナーの向上 9.変化する時代に即したルール、マナー啓発を

### ○にぎわうまち

テーマ	課題解決の方向性	提言
(4) コミュニティの輪を広げて生かせるまちをつくる	町会・自治会・マンション等の地域での交流を進めたい	10. イベントをきっかけとした緩やかなつながりを 11. 成功事例の情報共有・周知を
	町会・自治会の担い手を育てたい	12. 若い世代の加入促進と担い手としての育成を
	高輪地区の情報について、興味あるテーマをまとめて知りたい	13. テーマごとに整理した高輪地区の情報の発信
	もっとデジタルサイネージを見て、活用してもらいたい	14. 設置場所の改善を 15. 配信情報が目を引くような工夫を 16. 配信情報の作成・提供方法の多様化を
(5) 文化・芸術・歴史を楽しめるまちをつくる	高輪地区の歴史や名所をもっとアピールしたい	17. 案内表示の工夫など 18. 高輪地区にまつわる書籍や民間情報の活用
	高輪地区の歴史的・文化的魅力を多くの人に伝えたい	19. 「私が語る高輪今昔物語」に新たな切り口を 20. 「私が語る高輪今昔物語」の発信力の強化を
	SNSの発信力を高めたい	21. 高輪地区総合支所の Twitter フォロワー数を伸ばす

### ○はぐくむまち

テーマ	課題解決の方向性	提言
(6) 子育てしやすいまちをつくる	大学と連携した世代間交流などの機会を充実させたい	22. 子どもや学生の声の反映を 23. 大学の持つ知的資源などの活用を
	安心して子育てできる環境を向上させたい	24. 親子のニーズリサーチの強化・反映を 25. パパをターゲットとした相談強化を 26. 参加方法と広報の改善を
(7) 高齢者（誰も）が過ごしやすいまちをつくる	住民と地域内大学がつながりたい	27. 地域の大学と連携した住民の居場所づくり
	コロナ禍で縮小した地域の交流の機会を充実させたい	28. 多世代参加の居場所づくりを

### 3. 提言へ向けた会議における意見のまとめ

#### かがやくまち

---

#### (1) 災害に強く安全・安心なまちをつくる

##### ○現状

- ・高輪地区では、震災時、火災の延焼による危険から避難する場所として、「芝公園・慶応大学一带」、「自然教育園・聖心女子学院一带」、「高輪三丁目・四丁目・御殿山地区」が広域避難場所に指定されている。14か所の区民避難所(地域防災拠点)や3か所の福祉避難所がある他、豪雨などによる浸水を想定して、土のうを6か所に配置している。
- ・高輪地区には、4つの地域防災協議会(御田小地区防災協議会・白金小地域防災会・白金地区防災協議会・高輪地区防災ネットワーク)が設置され、防災関係機関と連携して、地域の防災訓練を実施している。
- ・安否確認や近所の助け合いのために集まる「地域集合場所」が町会・自治会ごとに定められており、これらの情報は「港区高輪地区防災マップ」に掲載され、配布されている。
- ・高輪地区では、区民や事業者を対象に、自助及び共助の取組の重要性と地域防災に関する理解を深めることを目的とした地域事業「たかなわ防災コミュニティ向上プロジェクト」を実施している。
- ・区には、地域や区民が主催する、防災意識の高揚や防災知識の普及啓発のための講演会・学習会に、防災に関するアドバイザーを派遣し、支援する「防災アドバイザー派遣制度」がある。

##### ○魅力と課題

- ・「浸水ハザードマップ」「土砂災害ハザードマップ」など6種類ものハザードマップがあることは安心だが、知らない住民も多い。細い路地や木造住宅密集地に関する情報も含めて、もっと周知や活用につなげることが課題。
- ・浸水ハザードマップ上で浸水する可能性がある地域内の避難所をはじめ、既存の防災体制や情報発信方法の工夫を行う必要がある。
- ・高輪地区の「防災安全確認カード」はよい取組なので、周知し、マンション内のコミュニケーション形成の一助とすべき。
- ・マンションなどの集合住宅の中には防災担当者がいないところや、区や周辺の町会・自治会等を母体とした防災住民組織との関係性が希薄なところがあり、防災や被災時の対応に課題がある。

## 課題解決の方向性

### 「もっと分かりやすい防災情報発信を」



## 提言1：既存の防災情報・システムの周知・活用

### 例えば

- ・住んでいる家が川の近くにあるのか、台地の上にあるのかなど、住む場所によって災害に関する意識が異なることをお互いに知るとともに、「津波ハザードマップ」、「液状化マップ」、「揺れやすさマップ」、「浸水ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」、「高潮浸水ハザードマップ」の6種類あるハザードマップの周知を徹底し、災害の種類別の細かな対応策を提示する。
- ・高輪地区には、細い路地や木造が密集しているところが多い。災害時、建物が倒壊すると消防車が入れなかったり、人が通行することもできなかったりする。このような危険があるということがわかるようなマップがあるとよい。
- ・自宅や避難所の各災害における危険性について、どのような状況にあるのか検索できるツールについて、その存在と利用方法を住民向けに周知する。
- ・避難所の収容人数や新型コロナウイルス感染症の感染対策を踏まえた1人当たりの避難スペース、防災設備などの既存の情報を区で整理、見直し、周知をはかり、区民の日頃からの災害時に向けた準備の参考とする。
- ・高輪地区の「防災安全確認カード」は、よい取組。是非周知し、誰もが利用するようになってほしい。「助けて欲しい」という意思表示も加えた方がよいのではないか。

## 提言2：情報配信方法の改善

### 例えば

- ・古川の状況など地域限定の情報についても、知りたい人が情報取得できる仕組みをつくる。
- ・防災無線の内容を防災ラジオやデジタルサイネージ、青色パトロールなどでもフォローすると、無線放送が聞こえにくい人でも助かる。
- ・災害時の情報もデジタルサイネージで提供できるとよい。その際、最新情報や詳細情報なども入手できるよう、URLやQRコードも表示したらよいのではないか。
- ・今後、高輪地区に来訪する外国人が増えると思うので、やさしい日本語や英語、中国語、韓国語などでも受信できるとよいのではないか。
- ・WEBやSNSでの配信方法を工夫し、「防災情報」だとはっきり分かるようにする。

## 課題解決の方向性

「マンション防災支援の強化を」



### 提言3：防災に関わるマンション住民の不安解消

#### 例えば

- ・マンションでも、理事会、管理組合、防災住民組織等の団体が申請すると、防災対策のアドバイザーを派遣してもらえるなど、支援の仕組みの周知を強化し、利用を促進する。
- ・地域防災協議会にマンション住民も参加しやすい仕組みをつくる。
- ・住民に分かりやすい災害時のロードマップ（防災マニュアル）を作成し、その内容を周知することで、住民一人ひとりの防災や避難行動の意識啓発につなげたい。

### 提言4：マンションと町会や地域団体との連携

#### 例えば

- ・普段から、防災訓練を一緒に行うなど、マンション、町会・自治会、大学、企業等の横のつながりを大事にし、いざという時に備えたい。
- ・具体的には、マンション内にある防火用水などの防災設備について、何があるのか、どこの管轄なのか、いざという時に誰がどのように使えるのかなどをマンションと周辺町会等が話し合い、整理し、一緒に訓練するなど知識を共有しておくことが大事である。

## (2) 緑あふれるまちをつくる

### ○現状

- ・高輪地区は緑に恵まれており、緑被率（27.98%）が区の平均値（22.62%）よりも高い水準である。緑はコミュニティの観点だけではなく、景観や防災の観点からも地域の重要な資産となっている。
- ・民有地の緑の保全と創出を進めるために、保護樹木・樹林助成制度や屋上等緑化の助成制度がある。また、区民が地域の道路・公園等の草花管理を行う「港区アドプト・プログラム」による緑のボランティア活動がある。
- ・区民との協働により、高輪地区の特徴である豊かな緑を守り、育み、楽しみながら緑を通じて地域コミュニティを形成し、緑化の普及に対する意識の向上を図ることを目的として、地域事業「高輪みどりでつながるプロジェクト」を実施している。

### ○魅力と課題

- ・高輪地区全体の緑被率は高いものの、生活エリアにおける緑は減少傾向にある。特に街路樹の老齢化や防災目的による伐採、民地の再開発、環状第4号線の整備などによる緑地の減少がみられる。
- ・「高輪みどりでつながるプロジェクト」で実施中の花の育成活動では、高輪コミュニティぶらぎ3階のテラスで植え付けが行われている。3階テラスへたどり着くには階段を上る必要があり、その結果、育成活動に参加できる人や育てた緑や花に触れ合う機会が限定されてしまうことが課題となっている。
- ・より多くの住民にプロジェクトの内容を周知したり、活動範囲や方法を広げて多くの住民の参加に繋げたり、活動の成果の発信を工夫したりすることが求められている。

## 課題解決の方向性

「緑で地域コミュニティをもっと広げたい」



### 提言5：緑を育てる活動を通じて地域の町会等との連携を深める

#### 例えば

- ・「高輪みどりでつながるプロジェクト」のメンバーにワッペンや腕章を配布し、ボランティアで公共的な場所の緑化をメンバーがお手伝いできるようにする。
- ・高輪ゲートウェイ駅や品川駅周辺の再開発エリアの事業者と連携し、緑を育てる活動を広げたい。
- ・「高輪みどりでつながるプロジェクト」と町会・自治会、保育園、学校等の活動と連携すればコミュニティが広がる。
- ・中学校敷地内ではあるが、アジサイロードを花が咲く時期などの一定時間に誰でも歩けるようにしたらどうか。また、ライトアップをして周知してはどうか。
- ・現在は3階テラスで実施している活動を見直し、今後は、町会・自治会で管理する花壇、保育園の花壇、公共の敷地や私有の花壇等に種や苗木を配り、地域の人々と一緒に花を育てる。
- ・SNSに植物の写真等緑化に関する投稿をすると種や苗木がもらえるなど、インセンティブを設け、緑化に関する情報発信を地域と連携して行う。
- ・「高輪みどりでつながるプロジェクト」の活動報告をSNSで広く発信し、より多くの人に知ってもらうことも大事。発信する時はハッシュタグをつけるなど工夫をするとよい。

### 提言6：緑のアドバイザー派遣

#### 例えば

- ・公園の植栽など町会・自治会でも草花の栽培を行っているので、「高輪みどりでつながるプロジェクト」から、メンバーを派遣したり、専門の業者を派遣して、育て方のアドバイスを行ったりしたらどうか。

### 提言7：みどりの散策マップの活用

#### 例えば

- ・「みどりの散策マップ」をデジタル化するなど、もっと周知する。
- ・カテゴリ一別の詳細版を作成するなど、既存マップをブラッシュアップする。
- ・散策マップを見ながら歩く際、ポイントごとに説明板をつけ、QRコードで詳細を閲覧できるようにする。
- ・区が提供するWi-Fiマップも一緒に記載するとより便利になる。

### (3) マナーを守り、きれいなまちをつくる

#### ○現状

- ・高輪地区は「高輪台」や「白金台」などの地名が示すように武蔵野台地の一部をなす高台がある一方で、地区北部の白金は古川に沿った低地となっている。また、地区東端の芝浦地区に面した地域では入り江上の地形となっているなど、全体として起伏に富み、坂が多い地形である。
- ・町会・自治会や企業などで構成された高輪地区生活安全・環境美化協議会では、タバコやごみのポイ捨ての清掃活動を実施するとともに、自転車利用者のマナー向上などの啓発活動も実施している。

#### ○魅力と課題

- ・坂が多い地形のため、自転車のスピードが出やすく、危険な通りや交差点がある。特に近年は電動自転車が増加しており、利用者が増加し、危険度が高くなっている。
- ・高輪ゲートウェイ駅や環状第4号線の整備などにより、駅の乗降客などが飛躍的に増加し、これまで高輪地区に訪れなかった層の流入が予想されるため、街の安全性を強化し、良質な住環境や観光資源、環境美化を積極的に維持する必要がある。
- ・外国人を含め、文化や生活上のルールが異なる多様な来街者が増えることによる課題の顕在化が予想されることから、時代の変化に対応したルールやマナーの検討や周知の重要性が高まっている。

#### 課題解決の方向性

「住民・来街者ともにマナーの向上を」



提言8：自転車マナーの向上

#### 例えば

- ・自転車ナビマークを、まだ設置されていない道路に増設し、自転車の走行位置やマナーの周知を図る。
- ・自転車マナーの啓発活動を強化する。

提言9：変化する時代に即したルール、マナー啓発を

#### 例えば

- ・電動キックボードの歩道利用や歩きスマホなど、新しい問題とそれを改善するルールをつくらないと危ない。社会が激変しているので、地域で共有するルールも常に更新していきたい。
- ・外国人向けに、やさしい日本語や英語、中国語、韓国語などでマナー啓発を行う。
- ・高輪発のルールとして、歩きスマホ禁止に関するマークを作成し、公共の場所に貼る。
- ・事業者と連携して、まちの安全確保やマナーの向上に努める。

### (4) コミュニティの輪を広げて生かせるまちをつくる

#### ○現状

- ・高輪地区には、45の町会・自治会がある。
- ・高輪地区には3つの大学（明治学院大学・北里大学・東海大学）があり、港区と3大学は連携協力に関する基本協定を締結し、様々な地域活動において協働している。
- ・町会・自治会は、世帯人員の減少やライフスタイルの多様化などによる加入者数の減少、担い手の高齢化・固定化による後継者不足、再開発に伴い増加する高層マンションの新住民と高輪地区に長く住む区民の良好な関係の構築など、様々な課題を抱えている。
- ・高輪地区では、地域の情報を効果的に発信し、区民が地域活動への関心を高めるきっかけをつくることで、地域のにぎわいやコミュニティの活性化を図ることを目的として、地域事業「高輪情報局」を実施している。
- ・また、町会・自治会の担い手となる区民を育てることを目的として、地域事業「町会・自治会潜在力向上プロジェクト」を実施している。

#### ○魅力と課題

- ・高輪地区は、町会・自治会、商店会活動が盛んであり、コミュニティが相応に構築されている。ただし、活動の中心は高齢者となり、マンパワー不足があることなどから、中には活動の停滞や閉鎖的になりがちな会もある。
- ・「高輪情報局」ではデジタルサイネージを活用している。ただし、設置場所やコンテンツ、一方通行の情報発信などに課題がある。今後は、皆の目に触れやすい場所への設置、目を引く工夫、興味を引くコンテンツ作成、多様な発信方法などが求められている。
- ・普段からのマンション住民と周辺住民との関わりが少ないことから、災害時の協力体制等が懸念されており、いかに平時から関係性を構築するかが課題である。
- ・マンションなどの集合住宅によっては、居住者間の組織化（自治会等）や地域との情報共有の仕組みが未整備なところがある。



#### 課題解決の方向性

「町会・自治会・マンション等の地域での交流を進めたい」



**提言 10：イベントをきっかけとした緩やかなつながりを**

#### 例えば

- ・ 季節ごとのイベント（ハロウィン、餅つき大会等）を毎年続けて、町会とマンションとの緩やかな相互交流の機会をつくる。
- ・ 防災、お祭り、ラジオ体操等、住民の関心が高いイベントを繰り返し開催する。
- ・ 地域の様々な人々がつながる、緩やかで新しいネットワーク形成の仕組みをつくる。

**提言 11：成功事例の情報共有・周知を**

#### 例えば

- ・ 高輪地区では、マンション同士や町会との交流、近隣の保育園との連携など、既に様々なつながりを構築した事例（防災訓練等）がある。それらの事例を他の地域にも伝えたらどうか。

#### 課題解決の方向性

「町会・自治会の担い手を育てたい」



**提言 12：若い世代の加入促進と担い手としての育成を**

#### 例えば

- ・ 高輪地区で実施されている様々なイベントは、実は町会主催で開催しているということを、若い人たちにアピールし、参画意欲を高める。例えば、お祭り、餅つき大会、防災や緑化の地域イベントなどへ気軽に企画段階から参加できるようにしたらどうか。
- ・ 若い世代が集まって気軽に話ができるコミュニティの場をつくる。
- ・ マンション住民や新しい住民に対して町会・自治会の活動を知る機会をつくる。

#### 課題解決の方向性

「高輪地区の情報について、興味あるテーマをまとめて知りたい」



### 提言 13：テーマごとに整理した高輪地区の情報の発信

#### 例えば

- ・高輪地区に関わる既存情報（イベントや講座等）について、テーマごと（防災、緑、環境美化等）に整理して発信してはどうか。
- ・そのような取組により、点で行われていた活動が面的につながり、同じ活動に興味を持つ人同士が知り合い、テーマごとのコミュニティが育つ可能性が出てくる。
- ・高輪地区の情報紙や町会・自治会のお知らせなどは、発信者が扱う情報を発信者ごとにまとめて出していることが多い。デジタル化するなど、多くの情報の中から、興味のある情報を選択しやすくしてはどうか。

#### 課題解決の方向性

「もっとデジタルサイネージを見て、活用してもらいたい」



### 提言 14：設置場所の改善を

#### 例えば

- ・スーパー、駅、銀行、大学等、様々な人が集まる場所に設置する。

### 提言 15：配信情報が目を引くような工夫を

#### 例えば

- ・高輪情報局のキャラクターが情報をしゃべるように見せる。
- ・画面の下部にキャプション（字幕）をつける。
- ・天気予報やクイズを入れる。
- ・既存の紙媒体のコンテンツも配信する。例えば、「お地蔵さん、お稲荷さん、さん歩マップ」をデジタル化して配信したらどうか。

### 提言 16：配信情報の作成・提供方法の多様化を

#### 例えば

- ・区民メンバー（「地域の潤滑油となる講座」の卒業生等）が関心を持つ具体的なテーマ（地元のお祭りやお店等）を設定し、取材してコンテンツを作成する。
- ・自分が知りたい情報が出て来るまで待たなくてもよいように、デジタルサイネージで発信する情報を港区ホームページやTwitterでも発信し、スマートフォンやパソコンでも閲覧できるようにする。
- ・双方向のタッチパネル式を試験導入し、欲しい情報を選択できるようにする。

## (5) 文化・芸術・歴史を楽しめるまちをつくる

### ○現状

- ・高輪地区には、「高輪大木戸」や「泉岳寺」、武家屋敷など、様々な史跡が残されている。江戸時代に高松藩松平家の下屋敷だった場所は、様々な経緯を経て、昭和24年に全域が天然記念物及び史跡に指定され「国立科学博物館附属自然教育園」となっている。
- ・かつて海に面していた高輪地区には、安政5年の開国以降、日本と条約を締結した諸外国の公使館や宿泊施設が集中して置かれるなど、江戸から明治への時代の転換期に重要な役割を果たした寺や神社等の歴史的建造物や文化的資産がある。
- ・現在、高輪地区内には9か国の大使館が立地している。
- ・高輪地区では、地域の区民が高輪地区の歴史や文化を学び、その成果を発信することを通じて、地域の歴史と魅力を発信することを目的とした地域事業「私が語る高輪今昔物語」を実施している。

### ○魅力と課題

- ・再開発などによりまちが大きく変わっていく中、高輪地区に住む人が地域に魅力を感じ、愛着が持てるよう、地域の歴史を次世代に分かりやすく伝承していくことが求められている。
- ・地域に住む人だけではなく、働く人、訪れる人、様々な世代の人など、様々なターゲット層に対して、歴史や伝統、文化の魅力を広く発信し、地域のにぎわいにつなげていく必要がある。
- ・外国人住民や観光客が増加しているものの、外国人に対応した観光案内ができる場所が少ない。多言語化に対応した標識や案内を増やすことが求められている。

#### 課題解決の方向性

「高輪地区の歴史や名所をもっとアピールしたい」



提言 17：案内表示の工夫など

#### 例えば

- ・高輪地区には多くの歴史的な名所がある。住民や来街者にもっとアピールできるように、案内表示を工夫し、例えばQRコードから詳しい説明を得られるような仕組みを作る。
- ・ボストンのフリーダムトレイルのように、道路の線をたどることで名所を周遊できるようにしてはどうか。

提言 18：高輪地区にまつわる書籍や民間情報の活用

#### 例えば

- ・高輪地区の情報紙以外にも、高輪地区を紹介する書籍や民間情報がたくさんある。港区に多くある坂の情報を紹介した書籍などを区民へ積極的に紹介し、高輪地区の良さを広めたい。

#### 課題解決の方向性

「高輪地区の歴史的・文化的魅力を多くの人に伝えたい」



### 提言 19：「私が語る高輪今昔物語」に新たな切り口を

#### 例えば

- ・写真ストックのアーカイブ化に加えて、これまでと異なる切り口や視点を入れてはどうか。例えば、テーマ別（「坂」「寺」「駅」「学校」「〇〇時代」「子どもの遊び」等）に整理する。
- ・閲覧するターゲット層別（年齢、国籍等）、展示する場所別（小学校、大学の学園祭、いきいきプラザ等）に写真を分類・提供できるようにする。
- ・高輪地区を良く知る方にヒアリングし、それを書き起こして記録するとともに、写真にストーリー性を加えて発信する。

### 提言 20：「私が語る高輪今昔物語」の発信力の強化を

#### 例えば

- ・SNSやデジタルサイネージでの発信を強化する。
- ・写真のキャプションなどを多言語化する。
- ・港区ホームページ上のデータを検索しやすく改善する。
- ・クリーンアップキャンペーン（清掃活動+文化財巡り）など、高輪地区内の活動とコラボレーションするのもよい。

#### 課題解決の方向性

「SNSの発信力を高めたい」



### 提言 21：高輪地区総合支所の Twitter フォロワー数を伸ばす

#### 例えば

- ・高輪地区からの発信を広げるスキルがある人とつながる。
- ・高輪地区に関係する情報を意識的にリツイートし、多くの人目に触れるようにする。
- ・フォロワーになるきっかけや仕組み作りの一つとして、ハッシュタグ付きの「つぶやきキャンペーン（賞品付き）」を開催する。
- ・SNS活用の際には、ハッシュタグ（#（ハッシュマーク））を活用する。

### (6) 子育てしやすいまちをつくる

#### ○現状

- ・高輪地区においても、マンションの新設や再開発が行われており、新たに高輪地区に流入する世帯が増加している。
- ・高輪地区には、区立の小学校3校、中学校2校、小中一貫教育校1校、幼稚園3園、保育園・保育室7園がある。
- ・地域でのつながりの希薄化によって身近な相談相手がいないこと、また核家族化が進み子育ての知恵や経験の継承が少なくなることなどにより、育児の孤立化が起こり、子育てに不安を抱える保護者が多くなっている。
- ・高輪地区では、地域事業「たかなわ子どもコミュニティカレッジ」を実施し、地区内の大学と連携して大学構内に地域の子どもの対象とした交流の場を設置し、大学の専門的な教育や職業教育に触れる機会を創出している。また、子どもと大学生の双方にとって、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技術に繋がる将来に向けての夢やきっかけづくりを行っている。
- ・また、乳幼児を持つ保護者が安心して子育てに取り組めるよう、地域全体で子育てや子育てを支援することを目的として、身近な地域に子育ての相談や保護者同士の交流ができる場づくりとして地域事業「高輪ほっとひといき子育て支援事業（愛称：COCO）」を実施している。

#### ○魅力と課題

- ・「たかなわ子どもコミュニティカレッジ」は、コロナ禍の影響を受けて大学構内での実施をしばらく行っていない。よい取組なので、東海大学以外の北里大学や明治学院大学でも、それぞれの知的・人的資源を生かした交流やプログラム提供、多様な子どもの居場所づくりなどが期待されている。
- ・高輪地区独自の「高輪ほっとひといき子育て支援事業（愛称：COCO）」を行っており、子育て層のつながりが生まれ、地区のコミュニティができて、徒歩圏内の身近な相談相手ができる。
- ・孤立している子育て家庭は、どこに相談してよいかわからない。子育て世代にちょうどよいタイミングで情報を届ける必要がある。
- ・子育て支援をしている施設が少なく、行きづらい。場所を増やした方がよい。
- ・「子育て相談」という言葉はハードルが高く感じる。気軽に、よりアクセスしやすいように工夫が必要ではないか。

#### 課題解決の方向性

「大学と連携した世代間交流などの機会を充実させたい」



### 提言 22：子どもや学生の声の反映を

#### 例えば

- ・主に子どもの声（楽しかった内容やこれから体験したいことなどの希望やニーズ）を把握するため、参加した子どもへのアンケートの回数を増やす。
- ・ヒアリングなどで子どものニーズをしっかりと聞き取り、近隣の児童館等と情報共有を行い、お互いに興味をもつコンテンツを柔軟に計画、実施したらどうか。
- ・学生が事業に参加するインセンティブを高められるように大学側に働きかけてはどうか。

### 提言 23：大学の持つ知的資源などの活用を

#### 例えば

- ・各大学の知的・人的資源や設備を活用した専門的なプログラムなどを提供してはどうか。

#### 課題解決の方向性

「安心して子育てできる環境を向上させたい」



### 提言 24：親子のニーズリサーチの強化・反映を

#### 例えば

- ・高輪地区の小児科の病院や防災訓練、図書館の読み聞かせ会など、近隣の親子で訪れる場に区が出向いて、乳幼児のいる世帯の困りごとや知りたいこと（例：子育ての仲間づくり、子ども服などのおさがりなど）、及び相談方法等のニーズを把握し、事業に反映させる。

### 提言 25：パパをターゲットとした相談強化を

#### 例えば

- ・「子育て中のパパ、集まれ！！」など、事業の時間帯を多様化し、パパが参加しやすい事業にしてはどうか。パパだからできるポジティブな育児情報の提供をするとよい。
- ・高輪地区内の企業等と連携し、企業へ出向いてパパ向け講座を実施してはどうか。

## 提言 26：参加方法と広報の改善を

### 例えば

- ・ 徒歩圏内の子育て仲間ができることをアピールする。
- ・ リモート参加を可能にするなど、もっと開催回数を増やし、参加機会を広げる。
- ・ 事前予約や人数制限を緩和し、当日参加も可能なようにする。
- ・ 高輪地区で実施している子育て支援事業の開催の概要（時間帯や内容、参加者など）が分かるような広報をすると、参加者が増えるのではないか。もっと事業内容の周知をするとよい。
- ・ 母子手帳交付の際に、高輪地区の子育て支援事業について周知する。出産後のフォローに関する情報を提供すると不安が和らぐことがある。
- ・ 外国籍住民にもわかりやすく周知するため、ひらがなを使うなど「やさしい日本語」や英語でチラシを作成してはどうか。まずは、事業を知ってもらい、通訳ができる友人と参加してもらうことなどから始めて、徐々に多言語対応できるようにしていく。

## (7) 高齢者（誰も）が過ごしやすいまちをつくる

### ○現状

- ・高輪地区においては、全国的な動向と同様に、人口増加に伴い高齢者人口も増加すると見込まれている。
- ・高輪地区には、4つのいきいきプラザ（白金・豊岡・高輪・白金台）がある他、白金の森（特別養護老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター、高齢者相談センター、ふれあい相談室）がある。高輪地区のいきいきプラザは、令和5年度に神応いきいきプラザが新設され、計5か所となる。

### ○魅力と課題

- ・港区は高齢者福祉が充実しており、高輪地区でもいきいきプラザ等での高齢者向け教室や活動が盛んに行われている。
- ・地区内の3大学がそれぞれの強みを生かし、地域と連携することにより、高齢者など住民の多様な交流機会や居場所を拡大することが求められている。
- ・近年、高齢者の孤立問題が深刻化している上、コロナ禍でさらに地域との交流機会が縮小傾向にある。



#### 課題解決の方向性

「住民と地域内大学がつながりたい」



**提言 27：地域の大学と連携した住民の居場所づくり**

#### 例えば

- ・現状のチャレンジコミュニティ大学は明治学院大学で行われている。たかなわ子どもコミュニティカレッジは東海大学と連携して実施している。
- ・明治学院大学、東海大学、北里大学のそれぞれの強みを更に生かしたい。例えば、明治学院大学は福祉、東海大学は情報化、北里大学は薬学などの強みがある。大学と地域が連携しつつ、子どもや高齢者の居場所の拡大をはかり、それぞれの強みに関する分野における知恵を借りる機会をつくりたい。

課題解決の方向性

「コロナ禍で縮小した地域の交流の機会を充実させたい」



提言 28：多世代参加の居場所づくりを

例えば

- ・ 色々な世代や立場の人が参加できる様な働きかけをする。
- ・ 具体的には、大学のサークルや運動部が子どもに得意分野を教えたり、昔遊びや将棋、碁、コマ回し等が得意な大人が子どもと一緒に遊ぶなどの活動を行う。

## その他のご意見

### 【ちいばすルートの増設を】

- ・高輪ゲートウェイ駅の開業や環状第4号線の整備などを契機として再開発が進められているが、工事期間中でも周辺のアクセスを整備し、買い物や観光の利便性を向上させることが課題。
- ・三田や泉岳寺周辺など日用品や食品が購入できる店が少ない。そのため、坂道が多い高輪地区では車を運転できない人や歩くのが困難になってきた人が買い物難民化している。そこで、買い物をする楽しみや心身の健康を維持するために、商店の協賛を得て、「買い物支援ちいばす」を走らせたらどうか。
- ・新設された高輪ゲートウェイ駅周辺は、未だ再開発の工事中で周辺へのアクセスが未整備である。そこで、観光目的としたルート新設を検討したらどうか。

### 【情報配信方法の改善】

- ・防災ラジオの無償配布など、デジタル対応が困難な住民向けの情報発信を強化する。

### 【自転車マナーの向上】

- ・特に、道路幅が狭い路地や歩道が狭い道路などにおいては、交通管理者と協力して、人・車・自転車それぞれの優先道路を設定するなど、歩行者の安全確保や走行マナーの向上に努める。



## Ⅱ 委員の感想



## II 委員の感想

※ご提出いただいた方のみ掲載しています。

(敬称略 五十音順)

タウンミーティング TAKANAWA2022 地区版計画改定支援グループに参加し、現役の方々と意見交換を行って、時代の変化や、高輪の高層マンションにおける課題、新しい生活様式などの話題に毎回聞き入ってばかりでした。

私は後期高齢者になりましたが、高輪地区には周りに元気な高齢者が大勢生活しております。高輪ゲートウェイ駅の開発が3年後に完成予定であり、人口は増えても、買い物や散歩等が不便になり、閉じこもりの高齢者が増える気が致します。

防災面や、街づくりのテーマで、今後の高齢者が高輪地区で健やかに生活していける様、支所と町会、住民が連携して良い高輪になる様、活発な意見交換をして提言書を完成しました。

リーダーや委員の方々、ありがとうございました。

(雨宮範夫)

若い優秀な方々が参加されて鋭い意見もでて、私も参加して参考になりました。これまでの施策を議論しているだけではもったいないように思います。

これから5年~10年、高輪地区は日本でも最も変化が予想される地区です。変化に対応した新しい施策を基本計画に提示していかないと、取り残されてしまうのではないかと思います。

これから、どういう施策を出すべきかもっと議論が必要かと思っています。

(安藤洋一)

継続的に地区版計画改定支援グループに参加させて頂いていますが、今年度は会社と仕事の予定が重なることが非常に多く、特に後半はほとんど欠席になってしまったこと、残念かつ皆様には申し訳なく感じております。

少ない参加の中で、印象に残っているのは街歩きにて高輪ゲートウェイ駅を訪れたことで、地元にはほとんど無関係な巨大な街が突然、現れることを実感をもって確認することが出来ました。支所レベルあるいは周辺住民ではどうにもならないことがほとんどかもしれませんが、今後この新しい街、およびその昼間住民、来訪者などのように折り合いをつけていくかは地区の大きな課題と考える次第です。本件が小生の高輪地区への思い、期待（懸念）です。

(伊吹仁宏)

大人になってから他県から引っ越して来て、子なし持ち家なしのため地域に知り合いなどもなく、交通の便がよく環境が良い地域だとは思うものの特に「思い」や「期待」と呼べるようなものはありませんでした。

けれど今後もこの地域で暮らしていくつもりなので、自分の暮らす地域に関心を持ちたいと思い活動に参加しました。

今回、地域の取り組みについて話し合ったり参加されている皆さんの地域に対する「思い」や「期待」を目の当たりにして、地域住民に開かれた活気のあるいい地域なのだと改めて知りました。

このように行政と地域住民の協働活動が確立していること自体が、暮らしやすい地域を育む大きな大きな可能性だと思います。

個人的には今では活動で知ったLINEの港区公式アカウントから毎朝届く情報も関心を持って読み直したり、詳細を調べに行ったりするようになりました。参加前は自分の暮らす地域なのにほぼ関心がなかった、つまり生活を人任せにしていたと思い当たりました。

自分の生活する地域に「思い」や「期待」を持つようになったことが、この活動に参加して一番良かったことです。

(今井もえ子)

高輪地区に住んで24年、暮らしやすい街と実感しています。  
今回グループに参加をして、今まで知らなかった活動、施設、サービスを知って、地域への理解を深めることができました。  
会議では、委員の方々、支所の方々が様々な議論を重ねました。  
高輪地区をよりよくするために、皆で力を合わせる貴重な機会に立合えたことを心より感謝いたします。

(入交雅子)

高輪に住んで13年になります。  
高輪地区の魅力は、新たに開業した高輪ゲートウェイ駅を中心とした新しい街と昔からある神社仏閣や街に多く点在する花や緑など新旧融合した場所が多くあり、今後、未来に向かってどう発展していくのかワクワクした期待感しかありません。  
そんな中、今回参加したタウンミーティングにも、高輪に長い間住まれている方から今大学に通われている学生まで幅広く参加され、まさにダイバーシティと言えるに相応しい会になりました。毎月のディスカッションでは、様々なテーマや課題について多くの意見が出され、多くの刺激や新たな気づきを受ける機会となりました。  
このタウンミーティングは、高輪支所の取組みに住民の意見を取り入れるとても素晴らしい機会だと思います。是非今後も継続いただき、この提言書にある取組みが一つでも実現し、高輪地区がさらに発展していくためのヒントにしていただければと思いますし、私自身も微力ながらお役に立てればと考えております。

(小笠原博明)

## 1. 高輪地区に対する「想い」と「期待」

一昨年、高輪地区にJR東日本「高輪ゲートウェイ駅」が誕生しました。JR東日本側では、新駅周辺を中心に、領域を超えて新しい文化価値を想像する場、国際交流拠点として100年先へ文化をつなぐコンセプトで街づくりに取り組んでいます。このJR東日本の先進的な取り組みに、国連が主導するSDGs（持続可能な開発目標）の観点から、未来志向の新しい街づくりに重大な関心を抱いています。東京都の中核的先進都心区としての港区全域をSDGsキャンバスととらえて、「SDGs未来都市みなと」の創造（創域）に向けて「高輪ゲートウェイ駅」を拠点（基点）として、100年先を見据えた地域共生社会づくりに産官学民が協働して取り組む体制づくりに期待しております。

## 2. 港区基本計画高輪地区版改定支援グループ活動に参加して

港区内には、多方面でご活躍しておられる多様な人材がきら星の如く多数おられます。老若男女とも、多世代、多様な方々が支援グループに参加されていて、活発な意見交換ができたこと、大変刺激を受ける機会となり有意義でした。この経験を糧に更なる精進に励みたいと思っています。

（金城恒夫）

木曜日が今年度最も忙しい日になってしまい、なかなか参加できずに申し訳ございませんでした。

参加して、高輪地区を良くしよう、限られた予算をより有効に使おうという皆様の熱意が伝わってきました。地域を良くしようという方が多くいらっしゃる事が分かったのが一番良かったことです。

高輪地区だからこそ取り組める活動である「たかなわ子どもコミュニティカレッジ」など、コロナ禍で実施が難しかった取り組みなどの再開も今後楽しみにしております。

（佐藤元己）

グループの活動を通して地域行政とかかわることで、地域社会について客観的な視点で考察することができました。多様な年代の方々の意見から、ひとつのテーマにおいても多角的な気づきがありました。

地域の3大学は得難い魅力です。今後も更に地域住民とのかかわりを深めていけますように。地域に開かれた大学であることが学生の糧となるように願っています。

地域の活動に参画する人々がつながることで、社会の大きな課題の是正もできるかもしれません。これからも区からの情報を積極的に受信し、暮らしに生かしていきたいと考えます。

(須賀聡子)

港区民で良かったと思うことはたくさんあるのですが、1年間委員として会議に参加し、港区内でもエリアに分かれて区の職員の皆さんがお仕事をされていることがわかって良かったと思いました。

ただ、毎回膨大な資料が配布されるので、まとめる作業ばかりに時間を有して、優秀な職員の皆さんの時間が無駄になっているのでは、と感じたのも事実です。

委員の意見が先だという事はわかりますが、会議の中で、区役所の職員の方の港区に対する思いがあまり伝わって来なかったことが少し残念でした。もっと、皆さんが日々港区民のためにしてくださっていることを伺いたかったです。

そういった意味では、会議の最後に、小グループに分かれて話し合いが行われた際に、職員の方々の思いが少し聞けたのが良かったです。

参加した当初は、よく意味がわからず聞いているばかりでしたが、最終的に提言書が形になっていって初めてこれまでの話し合いの意味がわかりました。

(寺本優子)

高輪地域はたくさんの高層ビルの建設や高輪ゲートウェイ駅の開設など、急速に発展しています。そのため、地域の環境が大きく変化しており、それに伴う課題や問題がたくさん出てきています。

高輪支所などでは積極的に対応していますが、発展が急速過ぎるので、高齢者や育児中の家族への対応などには行き届かない感じがあります。

港区ではマンション住民が9割を超える状況になっている状況を考えると、従来からの町会・自治会を中心にする仕組みだけではなく、マンションの住民や増加する企業を巻き込んだ新しい仕組みや取り組みも必要になっていることを強く感じました。

(平尾恭一)

初めて改定支援グループに参加させていただき、高輪地区での住民と区役所の取組みの一部を実感として知ることができました。

委員会の中でも度々意見として出されましたが、地区版計画の事業項目にだけ捉われることなく、派生する付随意見にもたいへん貴重で有意義なものがありますので、限定せずにこれからの検討課題のひとつとして、継続して取り上げ、検討を加えていくべきものと思います。様々な意見は宝の山です。

(水見洋)

高輪地区の魅力をもっと知りたいと思って参加させていただきました。

活動を通じて、参画されている皆さんのお話や、まち歩きなどから多くの発見と気づきが得られました。

また、様々な事業に携わりながらこのまちを良くしようと活動されているメンバーの皆さんや職員の方々の取り組みを知ること、だんだん私も何かの役に立ちたいと思うようになっていきました。

これから再開発などによりまちの姿が変わる一面もありますが、これまで築き上げて来た歴史や住民の意向をしっかりと活かしながら、より一層、魅力あるまちになっていくことを楽しみにしています。

一年間、皆さま本当にお世話になりました。

(依田和也)

### Ⅲ 会議の開催経過等



### Ⅲ 会議の開催経過等

#### 1. 会議の開催経過

令和4年度「地区版計画改定支援グループ」会議は、以下のとおり行いました。

	開催日	内 容
第1回	令和4年4月14日	【計画の位置づけや背景の把握】 港区基本計画・高輪地区版計画書とは？ 地域事業とは？ 地区版計画改定支援グループとは？
第2回	令和4年5月12日	【高輪の特長把握、地域事業の目的や活動内容把握】 ・地域事業学習会 その1（かがやくまち） 「たかなわ防災コミュニティ向上プロジェクト」「高輪みどりでつながるプロジェクト」の事業内容説明（質疑）
第3回	令和4年6月16日	【高輪の特長把握、地域事業の目的や活動内容把握】 ・地域事業学習会 その2（にぎわうまち、はぐくむまち） 「高輪情報局」「町会・自治会潜在力向上プロジェクト」「私が語る高輪今昔物語」「たかなわ子どもコミュニティカレッジ」「高輪ほっとひといき子育て支援事業」の事業内容説明（質疑）
第4回	令和4年7月14日	【高輪地区の魅力と課題の検討：意見出し】 ・「かがやくまち〔たかなわ防災コミュニティ向上プロジェクト、高輪みどりでつながるプロジェクトを中心として〕」における高輪地区の魅力と課題について
第5回	令和4年9月15日	【高輪地区の魅力と課題の検討：意見出し】 ・「にぎわうまち〔高輪情報局、町会・自治会潜在力向上プロジェクト、私が語る高輪今昔物語を中心として〕」「はぐくむまち〔たかなわ子どもコミュニティカレッジ、高輪ほっとひといき子育て支援事業を中心として〕」における高輪地区の魅力と課題について
まち歩き	令和4年10月1日	
第6回	令和4年10月20日	【高輪地区の魅力を活かし、課題を解決するための今後の方向性の検討：意見出し】 ・「かがやくまち〔たかなわ防災コミュニティ向上プロジェクト、高輪みどりでつながるプロジェクトを中心として〕」
第7回	令和4年11月17日	【高輪地区の魅力を活かし、課題を解決するための今後の方向性の検討：意見出し】 ・「にぎわうまち〔高輪情報局、町会・自治会潜在力向上プロジェクト、私が語る高輪今昔物語を中心として〕」
第8回	令和4年12月15日	【高輪地区の魅力を活かし、課題を解決するための今後の方向性の検討：意見出し】 ・「はぐくむまち〔たかなわ子どもコミュニティカレッジ、高輪ほっとひといき子育て支援事業を中心として〕」
第9回	令和5年1月12日	・提言書の作成に向けた検討①（3分野に分かれて検討）
第10回	令和5年2月16日	・提言書の作成に向けた検討②（3分野に分かれて検討）

## 2. 委員名簿一覧

「地区版計画改定支援グループ」のメンバーは、公募及び無作為抽出により申し込まれた、高輪地区総合支所管内に在住・在勤・在学、または高輪地区のために活動を希望する区民です。

(敬称略 五十音順)

	氏 名	リーダー・サブリーダー
1	雨宮 範夫	
2	安藤 洋一	
3	伊吹 仁宏	
4	今井 もえ子	
5	入交 雅子	
6	小笠原 博明	サブリーダー
7	菊田 昂征	
8	金城 恒夫	
9	工藤 裕美	サブリーダー
10	熊野御堂 昌子	
11	坂本 貞夫	
12	佐藤 元己	
13	清水 和彦	
14	清水 美輝	
15	須賀 聡子	
16	立澤 政二	
17	千脇 美登利	
18	寺本 優子	
19	平尾 恭一	
20	廣瀬 信一	
21	水見 洋	
22	由良 紀明	
23	依田 和也	リーダー
24	和気 翔太	サブリーダー

### 3.まち歩き概要

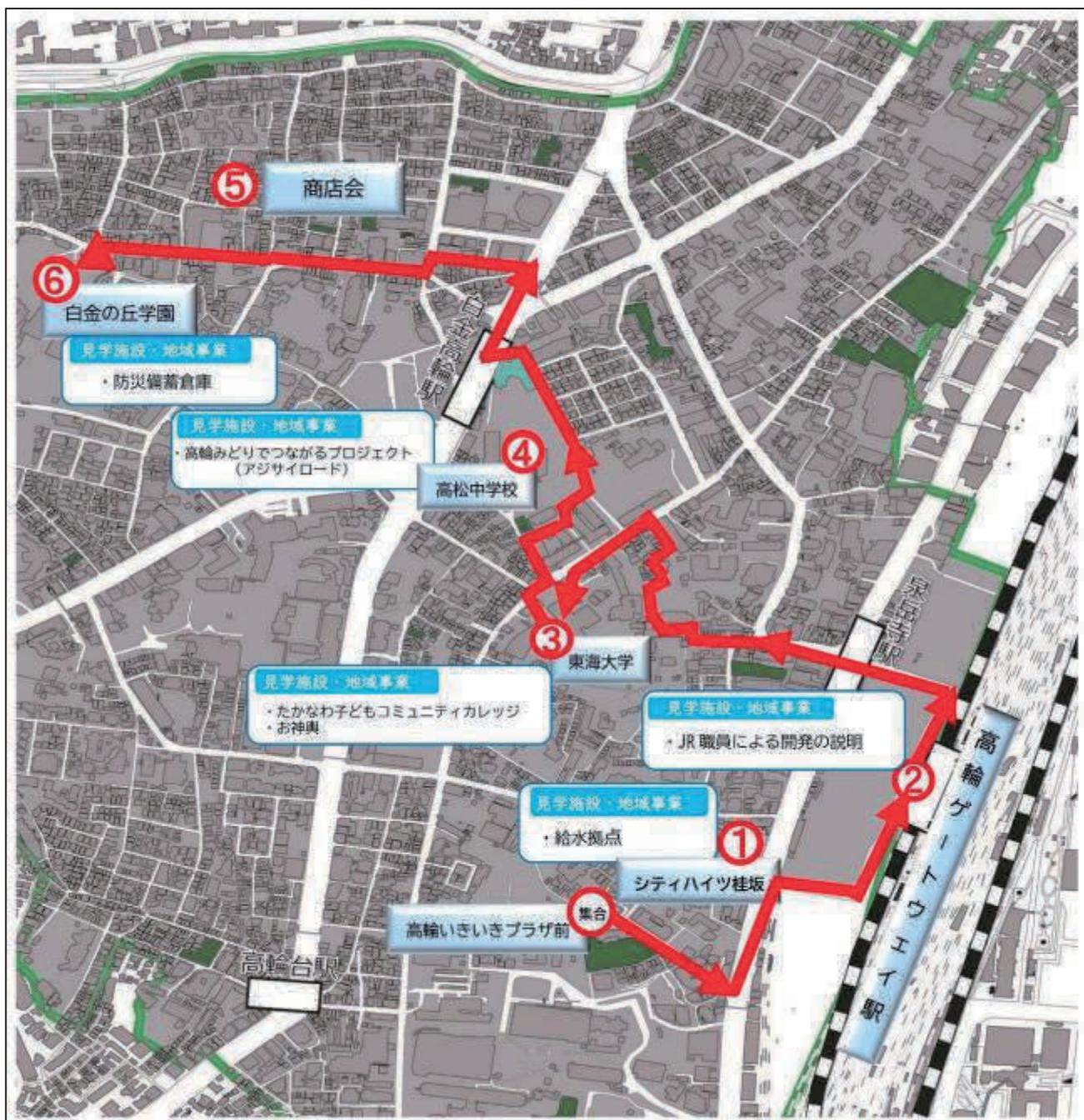
令和4年度「地区版計画改定支援グループ」  
まち歩き

日 時：令和4年10月1日（土） 13：00～17：30

#### タイムスケジュール

時間	場所	主な視察施設・関連する地域事業等
○集合 13：00 ～ 13：15	○高輪いきいきプラザ ※13時集合 (高輪3-18-15) 出発	
13：20 ～ 13：30	①シティハイツ桂坂 出発	・給水拠点
13：50 ～ 15：00	②高輪ゲートウェイ駅 改札前集合 出発	・改札前→デッキ上での解説→改札内（駅の中）視察→将来の駅周辺まちづくり概要・模型等の説明→質疑・意見交換
15：30 ～ 16：00	～泉岳寺駅付近～泉岳寺横の路地～ ③東海大学高輪校舎 ※小休止 出発	・たかなわ子どもコミュニティカレッジ実施場所 ・お神輿
16：40 ～ 17：00	～④高松中学校～⑤商店会 ⑥白金の丘学園（港区立小中一貫教育校）	・高輪みどりでつながるプロジェクト（アジサイロード） ・商店会 ・防災備蓄倉庫（白金の丘学園）
17：00 ～ 17：30	※まとめの会 解散	

# タウンミーティング TAKANAWA2022 まちあるきルートマップ



○13:00～高輪いきいきプラザ前集合～シティハイツ桂坂（給水拠点）



高輪いきいきプラザ前 集合



シティハイツ桂坂 給水装置収納倉庫



給水マンホール

○13:50～高輪ゲートウェイ駅



改札前



駅周辺の開発地域



駅構内 その1



駅構内 その2



改札前デッキ



意見交換会場

○15:00～泉岳寺駅付近～泉岳寺横の路地



泉岳寺付近



泉岳寺横の路地

○15:30～東海大学高輪校舎



東海大学高輪校舎前



お神輿



たかなわ子どもコミュニティカレッジ実施場所



東海大学情報技術センター その1



東海大学情報技術センター その2



東海大学情報技術センター その3

○16:10～高松中学校



アジサイロード



旧細川邸のシイ

○16:45～白金の丘学園（港区立小中一貫教育校）



白金の丘学園



白金の丘学園 備蓄倉庫その1



白金の丘学園 備蓄倉庫その2



まとめの会

## <まち歩き后感想>

- ・初めてのところばかりで感心した。
- ・高輪ゲートウェイ駅の概要について、近隣の人により丁寧に説明したほうがよいと思う。
- ・近隣のマンションから防災訓練を一緒に実施したいとお誘いが来ていることもあり、横のつながりを大切にしたいと思った。
- ・マンションの理事を務めているが、本日の見学で、個別のマンションでは防災対策がしっかり行われていることが分かった。
- ・本日見学したところは、どれも素晴らしかったが、横の連携やお互いに関わりがあるとよいのではないか。
- ・高輪ゲートウェイ駅に設置されていたサインボードは使いやすい。東海大学では最新の画像処理システムを見学した。JRや東海大学の知恵やテクノロジーをデジタルサイネージに活かさないか。
- ・かつて経験したことが無い予測不可能な災害時に、区全体がどのように対応すべきかに関心がある。本日、いくつかの現場を見学したが、もっと深く考えていかなければならない課題があると感じた。
- ・高輪ゲートウェイ駅周辺には、巨大なまちができる。地域に縁のない方も昼間人口として集積するので、周辺への負荷が高いただろう。区への帰属意識が低い人たちが増加することについて、防災面を含めて、住民としては不安がある。
- ・たかなわ子どもコミュニティカレッジは、コロナ以降、活動が休止していた期間があることや、収容人数を減らす必要があるなど、コロナの影響を受けている。今後は、安心して利用できるように代替策を講じることや、情報発信を行うことが必要だと感じた。
- ・高輪ゲートウェイ駅に初めて入り、よい経験をしたと思う。防災面では、発災時に区内の避難所で自分に何ができるかを積極的に考えていきたい。



港区基本計画・高輪地区版計画書  
見直しに向けた提言書

令和5(2023)年3月

タウンミーティング TAKANAWA2022  
「地区版計画改定支援グループ」



タウンミーティング  
TAKANAWA2022